

シンポジウム

◆先端技術と知財戦略—令和新時代の知財戦略の方向性を見極める—◆

【パネルディスカッション】

Society5.0 と呼ばれる現在から未来への時代の背景には、先端技術の進歩がある。AI、IoT の進展、ゲノム編集等の活用によるバイオ技術の飛躍的高まりなど、21 世紀にはいってこれら先端技術の進歩は著しく、そのスピードは速い。これまでトライアル・アンド・エラーで行われてきた創薬研究や新機能材料探索も、AI・機械学習によって、その手法が根底から変わりつつある。深層学習による産業用ロボットの最適化、自動運転車・コネクテッドカーの誕生も見えてきた。

こうした先端技術の進歩は、企業戦略にも大きな影響を与えつつある。なかでも知財戦略においては、デジタルデータが成長の糧となる。日本では 2018 年にデータ知財の法的な手当てと利活用の方向が示されるなど大きな変化があった。そのデジタルデータを巨大 IT 企業などの新興の巨大資本が独占しているとも言われるが、それは人が生み出す知の 10%にも満たないとされる。今後、分析されていないダークデータも、企業の知財戦略や知財政策に大きな影響を与えることになるだろう。

このような背景のもと、様々なデータに関わる先端技術の動向を俯瞰し、これを踏まえ

- AI・機械学習に活用されるデータの扱い
- 創薬・新材料など研究開発への期待と影響
- 自動運転車・コネクテッドカーなど AI、IoT 新時代のデータの価値
- AI、IoT 新時代に求められる知財制度
- 新時代の知財人材育成

等、企業の知財戦略及び政府の対応についてパネルディスカッションにて議論する。

■ パネリスト

秋山 泰氏 (東京工業大学 情報理工学院 教授)

久保浩三氏 (独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長)

丸山 宏氏 (株式会社 Preferred Networks PFN Fellow)

渡部俊也氏 (東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 / 日本知財学会 会長)

■ モデレーター

武重 竜男 氏 (東京工業大学 特任教授/研究・産学連携本部 副本部長)

シンポジウム

◆先端技術と知財戦略—令和新時代の知財戦略の方向性を見極める—◆

【パネリスト略歴】

「機械学習を活用した創薬研究の進展とデータ・知財(仮)」

秋山 泰 氏 (東京工業大学 情報理工学院 教授)



- 1990年 慶應義塾大学 大学院理工学研究科 電気工学専攻
博士課程修了(工学博士)
- 1990年 工業技術院電子技術総合研究所 研究官
- 1992年 京都大学化学研究所 助教授
- 1996年 技術研究組合新情報処理開発機構 研究室長
- 2000年 工業技術院電子技術総合研究所 主任研究官
- 2001年 産業技術総合研究所生命情報科学研究センター長
- 2007年 東京工業大学大学院情報理工学研究科 教授
- 2016年 改組により情報理工学院 教授
産総研創薬分子プロファイリング研究センター 研究顧問
並列生物情報処理イニシアティブ 理事長

「先端技術と知財人材育成(仮)」

久保 浩三 氏

(独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長)



- 1987年 弁理士試験合格。大阪府立産業技術総合研究所、大阪府研究開発型企業振興財団、および大阪府立特許情報センターを経て、2003年より奈良先端科学技術大学院大学において知的財産に関する研究、教育、技術移転に従事。
- 2004年5月、同大学教授、2007年1月、同大学知的財産本部長、同年4月、同大学先端科学技術研究調査センター長、2015年4月に同大学研究推進機構教授および産官学連携推進部門長に就任した。長年、一貫して、地域の中小・ベンチャー企業、起業家、研究者の知的財産活用を行ってきた実務家であり、現在、日本中が注目している「知的財産活用による地域振興」の草分け的存在である。2019年4月から現職。

シンポジウム

◆先端技術と知財戦略—令和新時代の知財戦略の方向性を見極める—◆

「AIと企業知財戦略 (仮)」

丸山 宏 氏 (株式会社 Preferred Networks PFN Fellow)



1983年 東京工業大学修士課程修了
同年日本アイ・ビー・エム入社
ジャパン・サイエンス・インスティテュート (後の東京基礎研究所) にて, 人工知能, 自然言語処理などの研究に従事
1997-2000年 東京工業大学 情報理工学研究所 客員助教授
XML, Web サービス, 及びセキュリティの研究・開発・標準化を行なう
2003-2004年 IBM ビジネスコンサルティングサービス株式会社へ出向
2006-2009年 東京基礎研究所 所長。執行役員
2009-2010年 キヤノン株式会社 デジタルプラットフォーム開発本部 副本部長
2011-2016年 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授
2016-2018年 株式会社 Preferred Networks 最高戦略責任者
2018年4月-現在 株式会社 Preferred Networks PFN Fellow

「データ AI 利活用の促進と知財 (仮)」

渡部 俊也 氏 (東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
/ 日本知財学会 会長)



1984年東京工業大学無機材料工学専攻修士課程修了、1994年同大学無機材料工学専攻博士課程修了(工学博士)。民間企業を経て1998年東京大学先端科学技術研究センター情報機能材料客員教授。2001年より同センター教授、2019年現在
大学執行役・副学長、未来ビジョン研究センター教授、工学系研究科技術経営戦略学専攻教授(兼)、東京大学産学協創推進本部本部長、東京大学安全保障輸出管理支援室室長、一般社団法人日本知財学会理事(会長)、研究・イノベーション学会会員、内閣府知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会座長(産業財産権分野担当)、経済産業省産業構造審議会産業技術環境分科会研究開発・評価小委員会委員、経済産業省国立研究開発法人審議会委員(NEDO 部会長)・経済産業省産業構造審議会 産業技術環境分科会評価小委員会 委員・文部科学省産業連携・地域支援部会臨時委員、大学等における産学官連携リスクマネジメント検討委員会座長などを兼ねる。

シンポジウム

◆先端技術と知財戦略—令和新時代の知財戦略の方向性を見極める—◆

【モデレーター略歴】

武重 竜男 氏 (東京工業大学 特任教授

/研究・産学連携本部 副本部長

/知的財産部門長、ベンチャー育成部門長)



1997 年特許庁入庁、審査第四部（現・審査第三部）に配属。審査官・審判官・上級審判官として審査・審判業務に携わり、審査企画室（特許審査ハイウェイ締結）、企画調査課（職務発明制度改正、先使用権制度ガイドラインの執筆、知財戦略事例集の執筆）、国際政策課（多国間政策室長・国連 WIPO 会合で日本代表団ヘッド）、審判課を経験。東京工業大学（工学部無機材料工学科）1997 年卒業、法政大学（法学部法律学科）2003 年卒業、米国ワシントン州立大学ロースクール 2008 年修了（IP LL.M.）、留学中に米国弁理士（Patent Agent）試験合格。2018 年 4 月から東京工業大学において知的財産（権利化・ライセンス契約）、大学発ベンチャー創出・育成、地域イノベーション活性化を統括。UNITT（大学技術移転協議会）理事。